

議会報告会を経て合意形成を図った意見・要望 〈地域との意見交換分〉

○コロナ禍を乗り越えるための地域コミュニティづくりに関すること

- ・地域活動については、地域担当職員は配置されているが効果的な取組が進んでいないことから、他市の事例なども参考に地域ににぎわいが戻るよう、行政が地域と一緒にになって取り組まれない。

【回答】（市民協働部）

本市では、平成22年度に地域コミュニティの在り方などをまとめた「地域コミュニティ基本指針」を策定し、この指針に基づいた地域コミュニティ組織に対する支援(物的・人的・資金的)を行なっているところです。

このうち、地域担当職員については、人的支援として「①地域と行政のパイプ役」、「②まちづくり推進のサポート役」としての対応にあたっており、地域活動に対する助言やサポート、地域活動を行う上でも必要な人材発掘、人材育成の取組みも行っているところです。

校区まちづくり協議会については、地域の安心安全や生活環境の維持、子育て支援などの地域課題の解決に向けた取組みを行われるなど、自立期に相応しい活動へと進化してきています。一方、「地域コミュニティ基本指針」策定から10年以上が経過し、さらには、「協働のまちづくり推進条例」が施行されてから6年が経過しており、市民との協働のあり方についても更なる検討が必要であると考えております。

本市としましては、以上のような状況を踏まえ、引き続き行政と地域が一緒になった協働の取組みを進めていくとともに、令和6年度からの次期「まちづくり総合プラン」に併せ、他市の事例なども参考にしながら、本市の地域コミュニティ施策に関する検証と今後の在り方を検討して参ります。

- ・地域組織への加入については、自治会のまち協への参加が進まず、校区まちづくり交付金の交付率逡減が迫る中、未加入組織への情報周知等の対応にも苦慮している。コロナ禍で子ども主体の行事もできず保護者世代など若い世代との接点がないことに加え、高齢でも働いている人が多く、公民館組織の後継者育成にも支障をきたしており、加入率を上げるどころか、現状維持も難しいため、市の力添えをいただきたい。

【回答】（市民協働部）

地域組織への加入対策や後継者育成については、地域コミュニティの形成や地域活動にも大きく影響しており、大きな課題の一つと認識しています。

本市では、地域組織への加入対策として、校区まちづくり協議会などと一緒に様々な取組みを進めております。

具体的には、「広報おおむた」を通じた啓発はもちろんのこと、市外からの転入者に対しては加入啓発チラシの配付や、校区内に新築の住宅やアパートが建設される際に、当該情報を各校区まちづくり協議会等に提供し、地域の皆様と一緒に加入に向けた働きかけを行っています。

また、不動産業者と連携し、転入者が居住される際に、地域組織に入っただくような働きかけも行っただいております。

今後においては、こうした不動産業者の組織、各校区の地域コミュニティ組織、行政との間で地域コミュニティ組織への加入促進のための役割分担や情報の共有化を図る仕組みづくりを行いたいと考えております。

また、若い世代を含めた働く世代への加入の働きかけを行うために、市内の事業所に対して社員の皆様に地域組織に加入していただくような働きかけを行うことができないかを、関係機関と調整を行っているところです。

今後とも、粘り強く、地域の皆様と一緒に加入対策を進めて参りたいと考えております。

なお、校区まちづくり協議会の加入率の考え方や加入率に応じた校区まちづくり交付金に対する逡減策については、地域からの要望などを踏まえ、見直しを行うこととし、現在検討を進めているところです。

- ・避難所の運営については、どなたが要支援者なのかなど避難者の情報を地域で共有したいが、市が持っている名簿の閲覧や使用ができないため、次善の策として、校区の方で避難される際は事前に薬や病名などを記入した名札を付けてきてもらい、受付で提出することも地域では考えている。地域のことを最もよく知っているのは地域住民であるため、避難所でもっと動きやすい状況を作りたい。

【回答】（防災危機管理室）

多数の避難者や避難の長期化に対応するためには、地域の皆様の協力を得て避難所を運営することが必要であると考えております。

災害時における要配慮者の情報については、「災害時要配慮者名簿提供に係る個人情報取扱いに関する協定」を締結している校区については、名簿を提供し情報を共有しているところです。

また、避難所の鍵の管理・運用等についての覚書を締結している校区については、避難所の鍵の貸与も行っております。

引き続き、地域の実情に精通されている地域の皆様と協議をさせていただき、ご協力も得ながら避難所の運営に努めてまいります。